

生まれてくるこどものための医療に関わる「生命倫理について審議・監理・運営する公的プラットフォーム」（案）

第1段階：明確化

①国が法制上の措置を行い監理すべき事項

国会、厚生労働省あるいはこども家庭庁、などで検討、施策実行

検討・監理事項

㊦生殖補助医療の提供等及びこれにより出生した子の親子関係に関する民法の特例に関する法律（令和2年法律第76号）

（2022/12/4成立、2022/12/11公布）の付則第3条の検討事項（特定生殖補助医療）

①生殖補助医療実施医療機関登録・整備、生殖補助医療実施例登録

㊧ヒト精子、卵子、受精卵を扱う胚培養士認定の国家資格の必要性（例：産婦人科専門医は一般社団法人日本専門医機構が認定を行っている）

㊨がん・生殖医療（精子、卵子、受精卵（胚）、卵巢組織等の長期保管・管理、死後生殖、将来的には代理懐胎）（現在、日本産科婦人科学会、日本泌尿器科学会、日本がん・生殖医療学会が行っている）

②国が法制上の措置を行うことが難しい事項（公的プラットフォームA,B）

こども家庭庁内あるいは公益財団法人などの形で組織構築（モデルとして医療機能評価機構など）

- **A専門委員会**役割：議論を行い専門委員会報告書を発出
- 構成：医療関係者（産婦人科、小児科、看護、遺伝関連等）、法学・生命倫理の専門家、障害者福祉分野の専門家、検査その他の有識者等で構成する、必要時には追加
- **B運営委員会**：専門委員会報告書に沿っての運営、監理を行う
- 庶務：こども家庭庁内あるいは公益財団法人などの形での組織の関連課が行う
- 費用：国が負担する

検討・監理事項

㊦生殖補助医療全般（情報提供・啓発）

①着床前遺伝学的検査（情報提供・啓発、施設認証、検査所認証）

㊧出生前遺伝学的検査（情報提供・啓発、施設認証、検査所認証）

㊨医学的適応のない卵子凍結（情報提供・啓発、施設認証？）

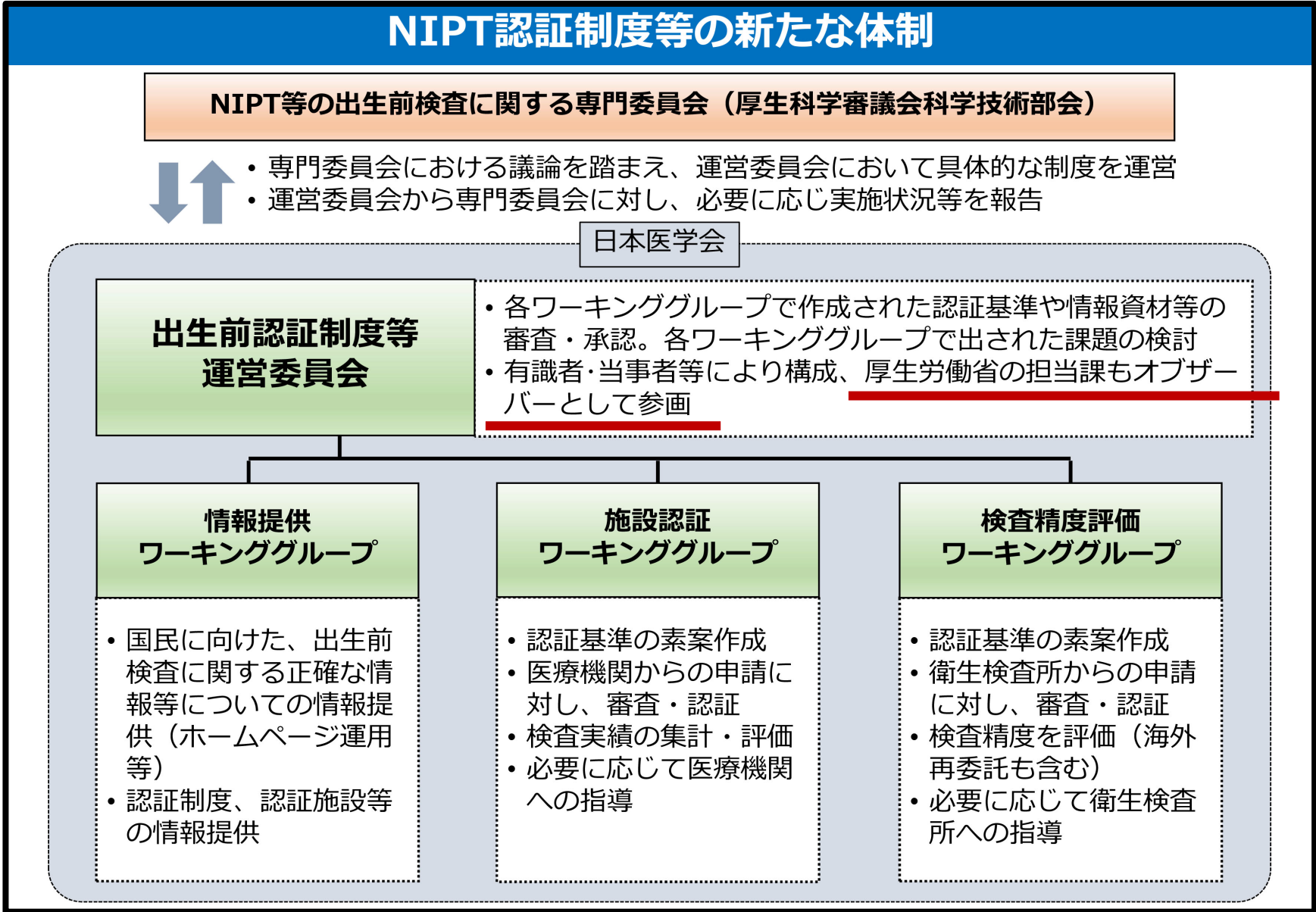
㊩これからさらなる発展が予想される遺伝学的検査に関しての運用・管理

㊪その他

（参考）日本医学会出生前検査認証制度等運営委員会HPより（次スライド参照）

この委員会は、厚生労働省の専門委員会「**NIPT等の出生前検査に関する専門委員会**」の報告書に基づいて同省の関係課も参画している組織です。

A専門委員会・B運営委員会参考例



A専門委員会参考例(過去に学会が開催)

PGT-M(重篤な遺伝性疾患に対する着床前遺伝学的検査) に関する倫理審議会(第1-3部)のまとめ

2020年1月25日

2020年11月1日

2021年2月7日

日本産科婦人科学会

1. 倫理審議会委員(27名次スライド)、傍聴団体・オブザーバー(次、次次スライド)を基本参加者として完全公開でWEB開催
2. 3回のすべての審議会後には、アンケート調査(自由記載含む)を行い、意見聴取、その後完全意見公開
3. 最終報告書作成(最終報告書への意見も含めて一般公開)
「PGT-Mに関する倫理審議会」最終報告書、参考資料、ご意見の掲載に関するご案内」

https://www.jsog.or.jp/modules/committee/index.php?content_id=178

A専門委員会参考例(過去に学会が開催)

倫理審議会委員 (27名)

1. 日本人類遺伝学会
2. 日本マススクリーニング学会
3. 日本先天代謝異常学会
4. 日本小児遺伝学会
5. 日本遺伝性腫瘍学会
6. 日本先天異常学会
7. 日本産科婦人科遺伝診療学会
8. 日本遺伝カウンセリング学会
9. 日本小児科学会
10. 日本臨床検査医学会
11. 日本遺伝子診療学会
12. 日本産科婦人科学会 (生殖)
13. 日本産科婦人科学会 (周産期)
14. 日本産科婦人科学会 (女性医学)

1. 毎日新聞(解説委員)
2. 電力中央研究所(元新聞社解説委員)
3. 明治大学(法学者)
4. 大阪大学(倫理学者)
5. 子ども療養支援協会
6. 日本科学未来館
7. 日本学校保健学会
8. ゲノム医療当事者団体
9. 遺伝カウンセラー(日本・米国)
10. 明治学院大学(人文社会科学)
11. 信州大学医学部保健学科
12. 日本産科婦人科学会顧問弁護士
13. 日本児童青年精神医学会

A専門委員会参考例(過去に学会が開催)

傍聴団体・オブザーバー

関連学会

1. 日本遺伝看護学会
2. 日本産婦人科医会
3. 日本周産期新生児医学会
4. 日本受精着床学会
5. 日本小児外科学会
6. 日本女性医学学会
7. 日本生殖医学会
8. 日本生殖免疫学会
9. 日本内分泌学会
10. 日本泌尿器科学会
11. 日本婦人科腫瘍学会
12. 日本神経学会

患者会・関連団体

1. RBピアサポートの会(網膜芽細胞腫)
2. ALDの未来を考える会
3. SMA家族の会
4. クラヴィスアルクス (HBOC)
5. 筋強直性ジストロフィー患者会
6. グループ生殖医療と差別
7. 神経筋疾患ネットワーク
8. 全国キリスト教障害者団体協議会
9. SOSHIREN女(わたし)のからだから
10. DPI女性障害者ネットワーク
11. 日本難病・疾病団体協議会
12. 日本ハンチントン病ネットワーク
13. ひまわりの会 (リンチ症候群)

報道関係など

1. 朝日新聞
2. NHK
3. 共同通信社
4. 産経新聞
5. 時事通信社
6. 日本経済新聞社
7. 日本テレビ
8. 北海道新聞
9. 毎日新聞
10. 讀賣新聞

厚生労働省